

令和7年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	Ⅵ産業振興	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	2 環境と共生し、付加価値を生み出す農業を育てる	食料自給率を維持・向上させるためには、担い手農家の経営基盤を強化する必要があります。 この事務事業では、市場取引価格が不安定な米穀の生産者に対する機械投資への補助金活用と、価格下落防止のための多品目への転換支援、保険料の補助などを実施しています。 将来的には補助事業に頼らず、自立した経営を実施できる自立した農業者の育成が課題となります。	規模拡大や経営の複合化を目指す農業者に対しては、施設整備や機械購入補助金等の活用支援や営農指導を実施していきます。 R6年度は米価の高騰などもありましたが、今後の動向に注視しつつ、麦・大豆・飼料用米などの転作作物への誘導を行い、米価の適正価格の維持に繋げていきます。
	施策	1 農業		
	施策内容	農業経営の強化		
	その他、根拠法令及び分野別計画等	常総市農業基本計画、経営安定対策等実施要領		
事務事業名		経営所得安定対策事務		

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 7 予算額	R 7 決算額
活動名・事業名 （対象年）	R 7 活動・事業内容	指標（単位）	R 7 目標値	R 8 目標値		
			R 7 実績値	R 9 目標値		
農地利用効率化等支援 交付金事業 （R 7・8・9）	生産に寄与する機械や施設の整備に向けた支援	活用経営体数(件)	3	3	9,000 千円	3,097 千円
			1	3		
水田活用促進事業費補助金事業（市単独） （R 7・8・9）	水田活用直接支払交付金や産地交付金制度に合わせ、市単独補助金の交付により、生産者を支援する。	交付農家数(延べ件数)	325	200	34,000 千円	33,999 千円
			195	205		
収入保険加入促進事業 （R 7・8・9）	補助金を交付し、加入を促進する	PR 活動回数(回)	2	2	2,550 千円	178 千円
			1	2		
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R 7 実績値
スマート農業活用面積(ha)	20	0.51
生産数量目標に相当する数値(ha)	2,707	3,001
収入保険加入者数(件)	85	6

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
令和7年度は米価が著しく高騰した結果、飼料用米や加工用米に取り組む農家が激減したことから、生産数量目標が未達成となり、水田活用促進事業費補助金の交付件数も大幅に減少した。 スマート農業活用面積については、R7年度事業に採択された担い手が1経営体となり、活用面積目標が未達成となった。 収入保険加入者数については、周知不足等により加入者数目標が未達成となった。	☐ コスト	☐ 活動	☐ 成果	☐ その他
	今後の方向性			
	生産数量目標に相当する数値は、米価が大きく関係することから、市場の動向や国の政策を注視し市独自の交付金制度に反映していく。 収入保険加入促進事業については、令和9年3月31日までの交付要項上の期限となっているため、現行補助制度についての見直しを行っていく。			